

平成28年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」
（添付資料）

平成28年度西野田幼稚園評価保護者アンケート結果

- ・ 中期目標用
- ・ 年度目標用

大阪市立西野田幼稚園

平成29年3月

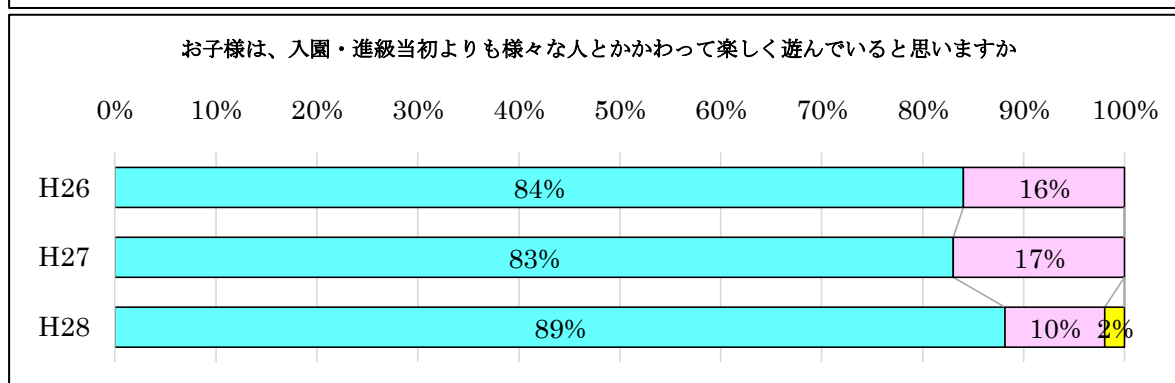
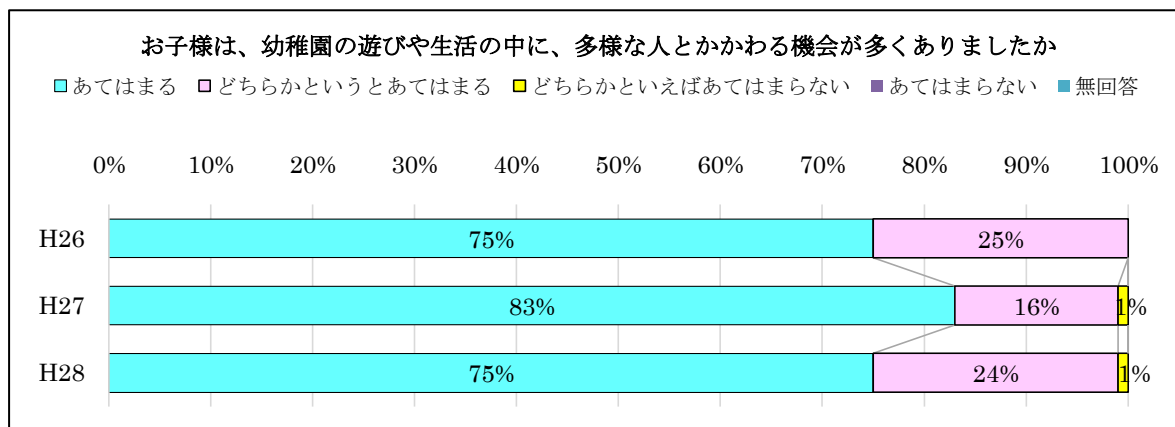
平成28年度西野田幼稚園評価保護者アンケート結果

中期目標用

中期目標におけるアンケート結果について

【視点 学力の基礎の向上】

(目標) 「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」の割合を、毎年、80%以上にする。



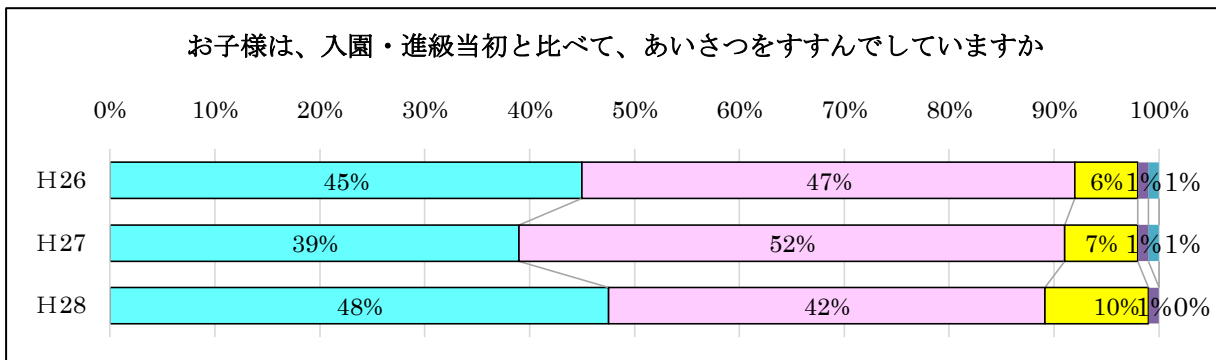
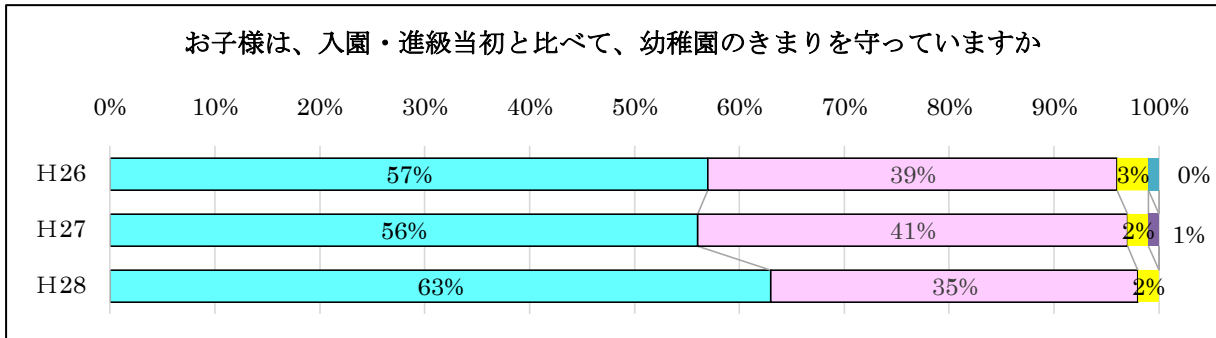
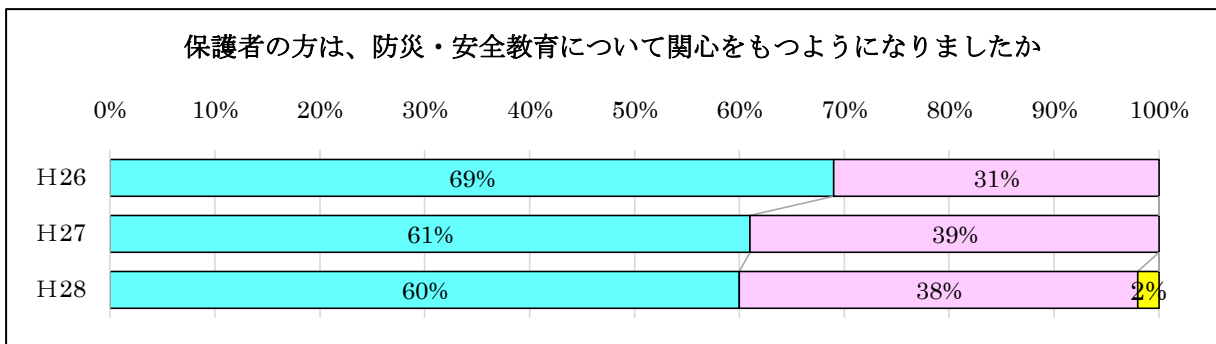
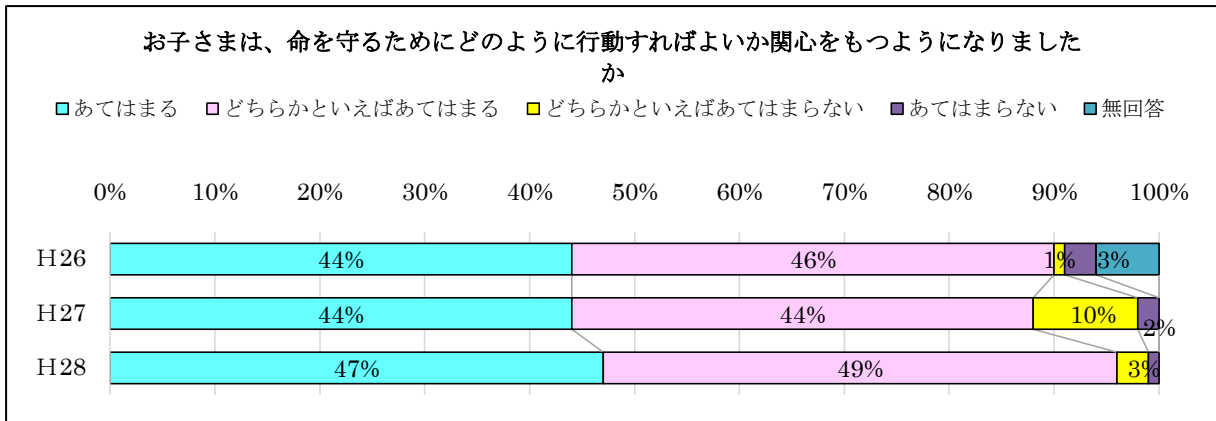
結果と分析について

【成果と課題】

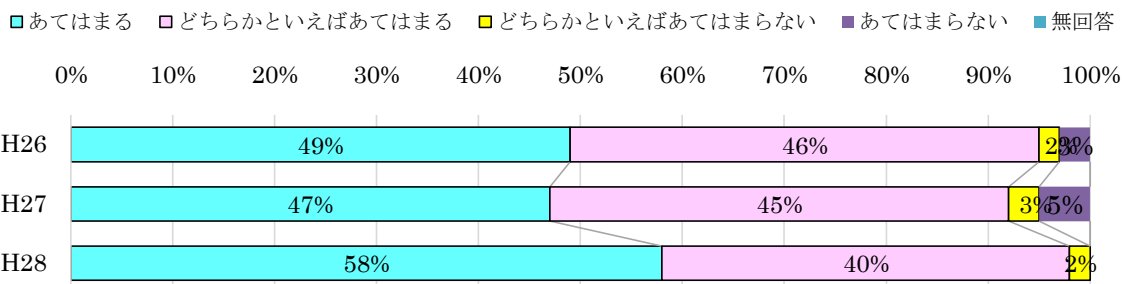
- ・2点とも中期目標において、年度末保護者アンケートで「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」と回答する割合を毎年、80%以上にする目標が、3年間とも98%~100%の回答割合であったことから、目標を達成することができた。
- ・しかし、項目「多様な人とかかわる機会」は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の回答割合が、H27と比べて横ばい、項目「様々な人とかかわって～」は前年度より2%減少している。このことから、楽しさを感じる、かかわる活動の充実を図っていきたい。
- ・「多様な人とかかわる機会が多くあったか」では、毎年、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」の高評価を80パーセント以上にする目標であったが、100%、99%、99%であったことから、目標を達成することができた。
- ・「様々な人とかかわって楽しく遊んでいる」においても、毎年、「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」の高評価を80パーセント以上にする目標であったが、100%、100%、99%であったことから、目標を達成することができた。
- ・以上のことから、来年度も引き続き、同年齢や異年齢での交流活動を継続して取り組んでいきたい。

【視点 道徳心・社会性の育成】

(目標) 「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」の割合を、毎年、前年度より向上させる。



お子様は、入園・進級当初と比べて、幼稚園には、いろいろな友達がいることを理解し、認め合おうとしていますか



結果と分析について

- ・ 道徳心・社会性については5項目のアンケート調査を行った。

5項目中4項目について最終年度においては、前年度より向上しているものの、毎年前年度より向上させることはできなかった。このことから、中期目標の達成はできなかった。毎年前年度より向上させるという目標設定が高かったことも考えられ、目標設定の仕方を再考するとともに、今後、保育内容の工夫や充実を考えていきたい。また、4項目は最終年度のH28は3年間の中で、高評価が一番高かったことから、一定の成果がみられたと思われる。

- ・ 防災・安全教育の2項目について。

「命を守るためにどのように行動すればよいか関心をもつ」では、H27がH26より2%下がったが、最終年度のH28はH27より8%上昇しており、子どもに命を守る意識は高まったものと思われる。保護者の方の防災・安全教育についての意識は、H26・H27の100%から最終年度に98%となっている。「保護者の方の意識～」について、パーセント的には、意識は非常に高くもっておられるが、H26・H27の100%に届くように、取り組み内容の工夫や充実を図っていきたい。幼児にとって、「保護者の方の意識」は大変影響があるので、取り組みの検証を行い、保護者の方の意識が更に高まるような工夫をしていきたい。

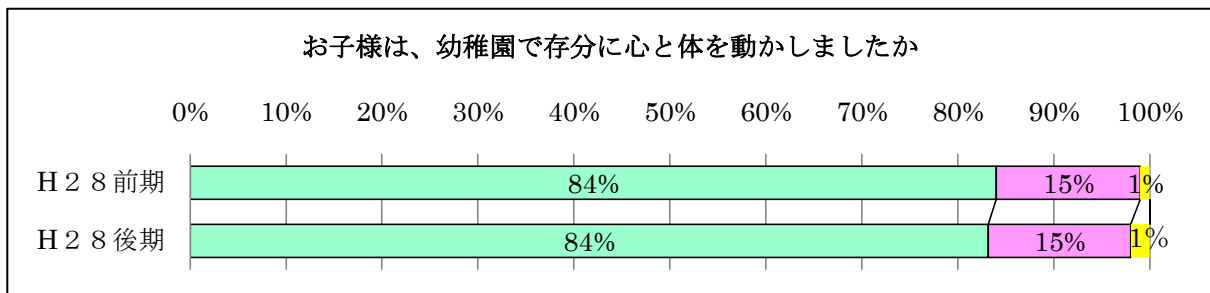
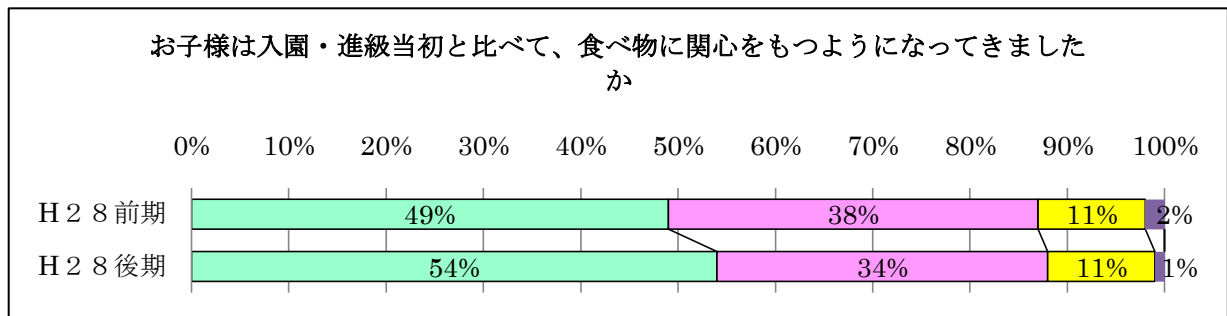
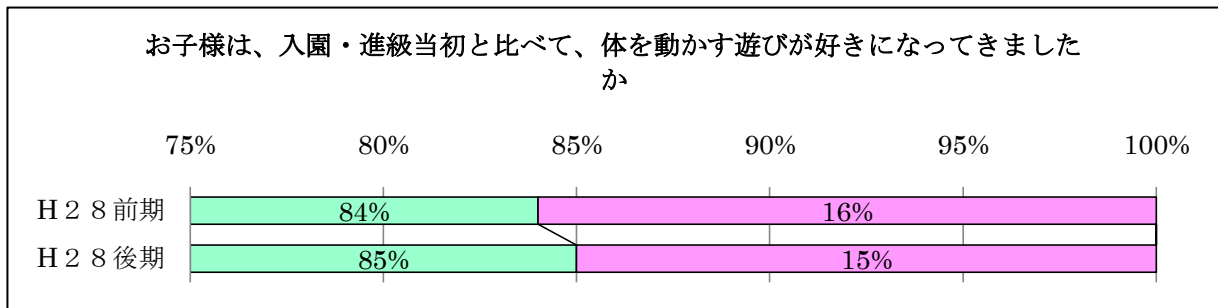
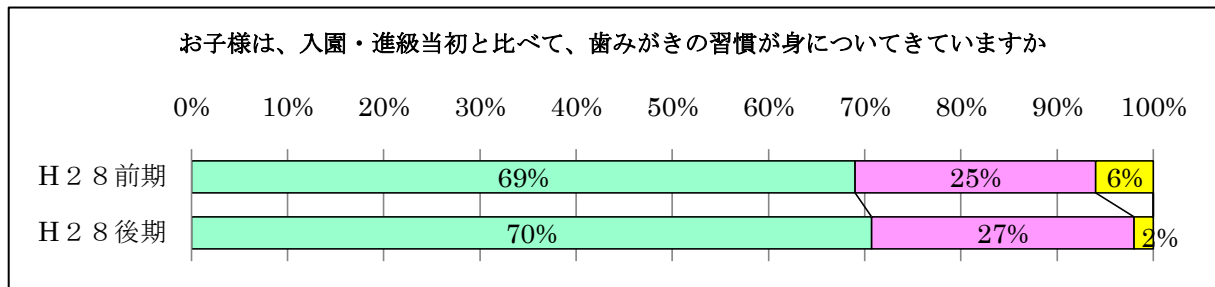
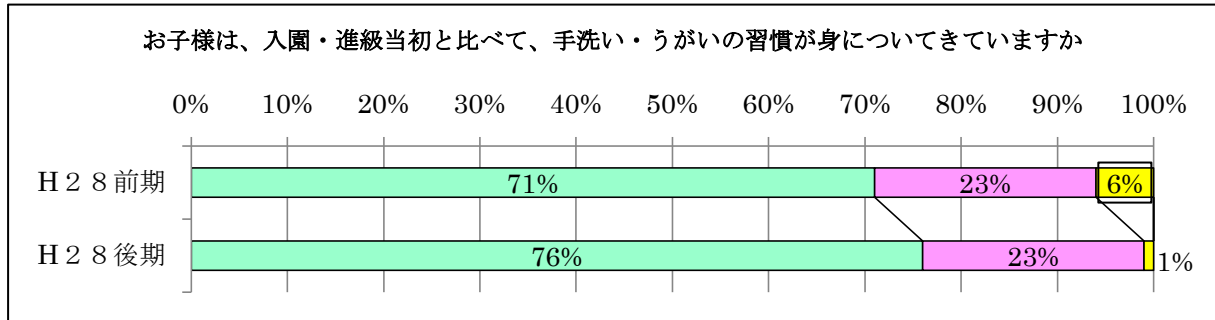
- ・ 規範意識や社会のマナーについて。

「きまり」については横ばいから1%上昇、「あいさつ」は減少、「友達を理解し認め合う」は、H27の高評価がH26より下がった。3項目については、毎年前年度より向上させることはできなかった。このことから、目標を達成することはできなかった。今年度、かなり取り組んだあいさつについてはアンケート結果が3年間の中で高評価が一番低い結果となっていることから、取り組みを再考したい。

以上、規範意識や社会のマナーについても、引き続き、あいさつ週間や人権教育・特別支援教育での取り組みを充実させて、さらなる成果へとつなげていきたい。

【視点 健康・体力の保持増進】

(目標) 「あてはまる・どちらかといえばあてはまる」の割合を、毎年、年度当初よりも増加させる。



結果と分析について

- ・平成 28 年度分で分析をしたところ、5 項目中、4 項目において年度当初よりも 1 %から 5 % 割合が増加した。このことから、年度当初より割合を増加させるという目標を達成することができた。
- ・項目「お子様は、幼稚園で存分に心と体を動かしましたか」では、割合は高いが、横ばいとなり、目標を達成することができなかった。「心と体を動かす」という設問が抽象的で答えにくさも考えられると思うので、次年度は、設問項目についても答えやすさや分かりやすさを心がけていきたい。

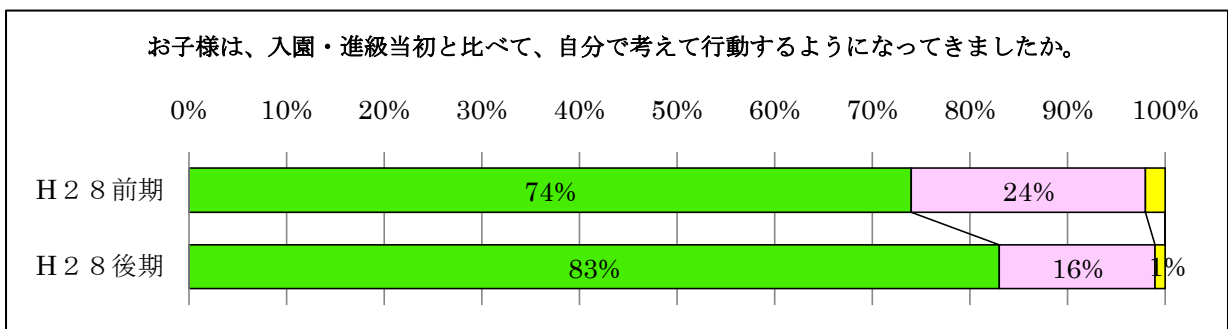
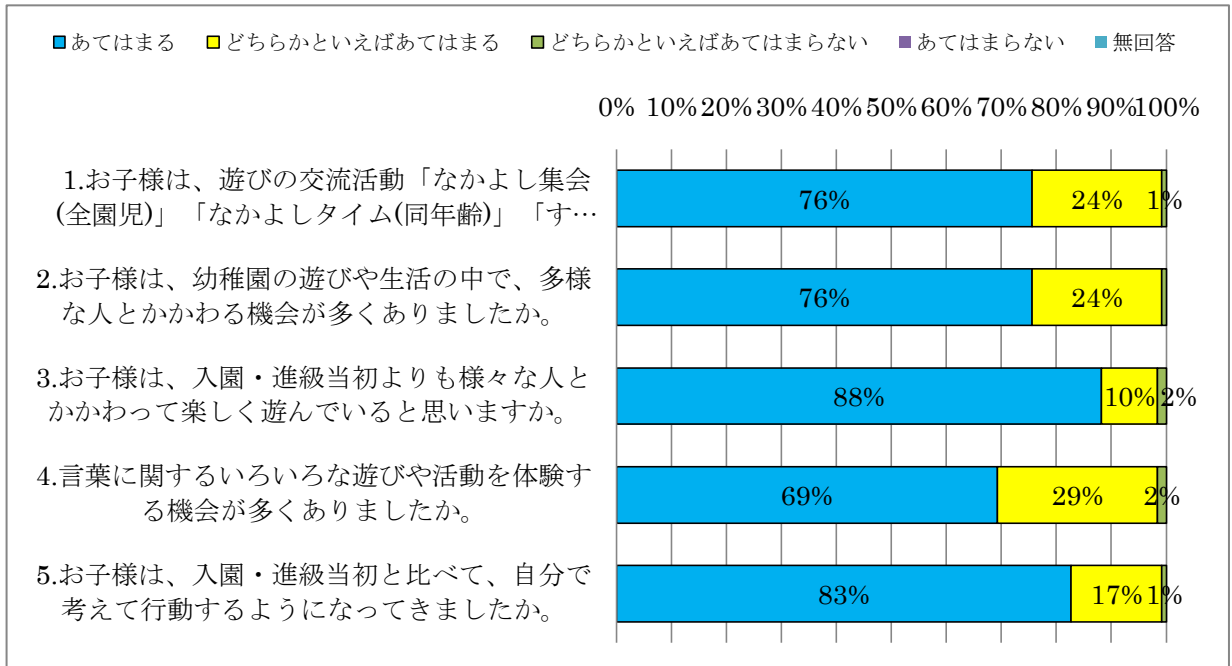
平成28年度西野田幼稚園評価保護者アンケート結果

年度目標用

(アンケート提出 128人/132人中 提出率 約97%)

【視点】学力の基礎の向上

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
お子様は、遊びの交流活動「なかよし集会(全園児)」「なかよしタイム(同年齢)」「すくすくタイム(異年齢)」などで、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいましたか。	96	30	1	1	0
お子様は、幼稚園の遊びや生活の中で、多様な人とかかわる機会が多くありましたか	96	31	1	0	0
お子様は、入園・進級当初よりも様々な人とかかわって楽しく遊んでいると思いますか。	112	12	3	0	0
言葉に関するいろいろな遊びや活動を体験する機会が多くありましたか。	88	38	2	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、自分で考えて行動するようになってきましたか。	105	22	1	0	0



【視点についての記述より】※抜粋したり、まとめたりしています。ご了承ください。

(5歳児)

- ・いつも幼稚園の出来事を嬉しそうに話してくれる。
- ・本人なりに幼稚園生活を楽しみ学び、毎日全力で過ごしている。
- ・英語など小学校に向けての教育を遊びを通してふれることによって、子どもの興味が感じられた。
- ・入園前には興味を示さなかった絵本の読み聞かせやお絵かき、工作。少しずつ興味をもって楽しく取り組むようになった。
- ・4歳児の時より先生の話も理解できるようになったようで、小学校へ向けて自信もついてきた。日々子どもの成長を感じる。
- ・毎日遊びを通して友達と関わり合い、いろんな感情を育てていることがそばで感じる事ができた。

(4歳児)

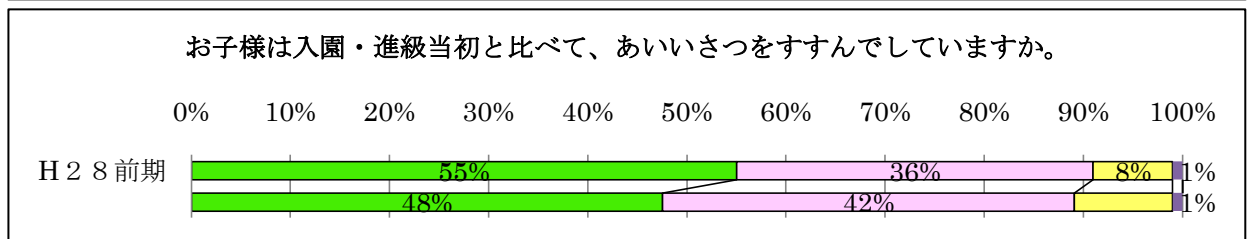
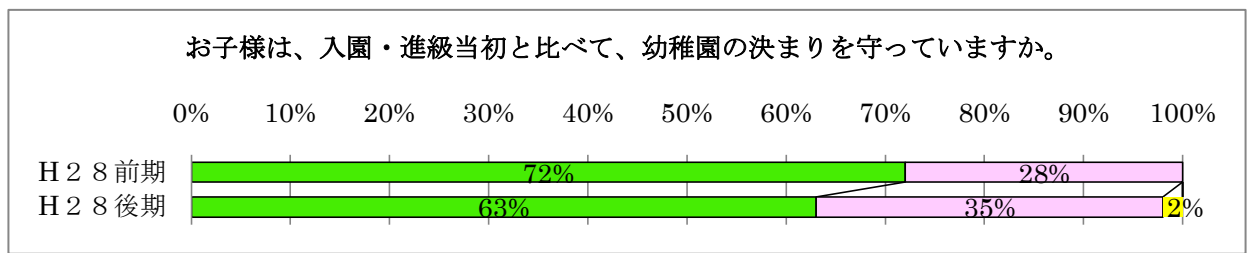
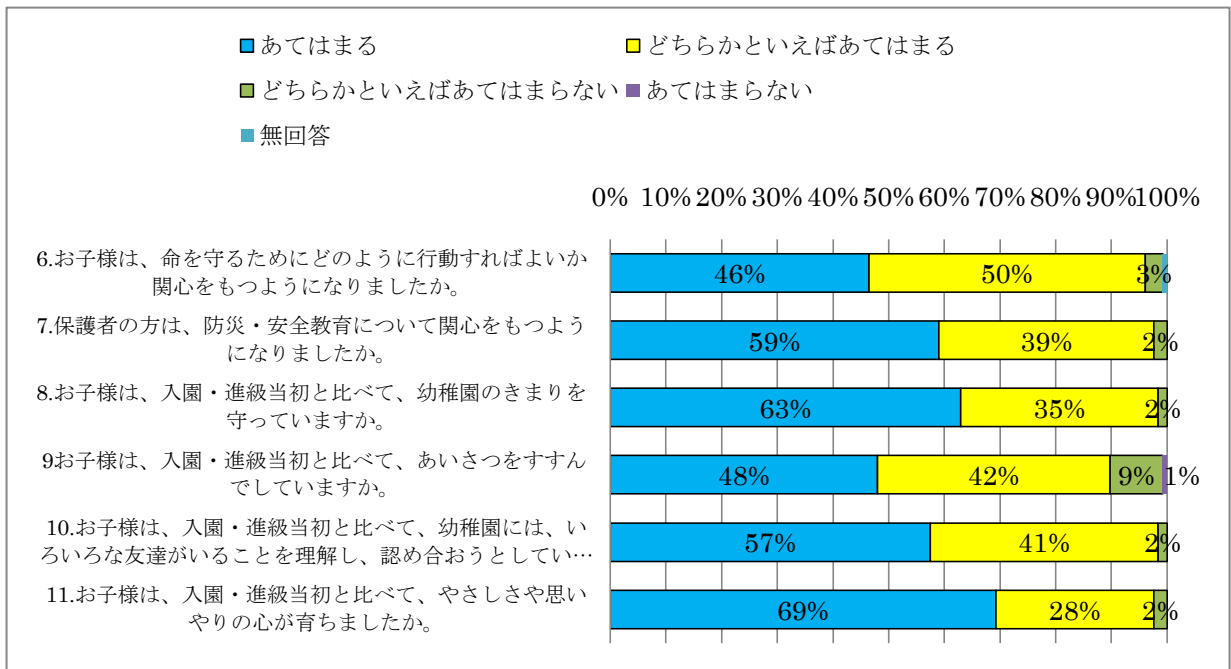
- ・人とかかわることが好きになっている。
- ・経験・体験したこと、感じたことを自分の言葉で伝えてくれた。
- ・秋頃から楽しくなったようで、幼稚園でみんなと一緒に色々なことに取り組むことが楽しくなったと思う。
- ・細かいことも上手に説明してくれるようになった。
- ・もう少し本に親しむ時間を増やしてほしい。昔話や童話を教えてあげてほしい。
- ・担任の先生だけでなく、色々な先生に気にかけてもらったり、年長組さんとかかわりをもったりする中で、一年で人とのコミュニケーションがとれるようになってきたと感じる。
- ・いろいろな友だちとかかわり、自分の思い通りにならなかった時は、どうすれば良いのか本人なりに考えるようになってきた。
- ・色々なことにチャレンジするようになった。
- ・家でも明日の用意や身支度がすすんでできるようになってきた。
- ・次は自分が大きい組になることを自覚しだしたようで、心の成長ぶりには驚いている。「すくすくタイム(異年齢)」で交流があるおかげなのではないかと思う。
- ・自分のクラスだけでなく、異年齢と一緒に活動したり、ペアを組んだりするのはとても良いと思う。そのような姿を見て成長を感じる。
- ・当初は言葉も少なく友達ともあまりかかわろうとしなかったが、かかわろうとする姿が多く見られるようになった。

【成果と課題・今後の取り組み】

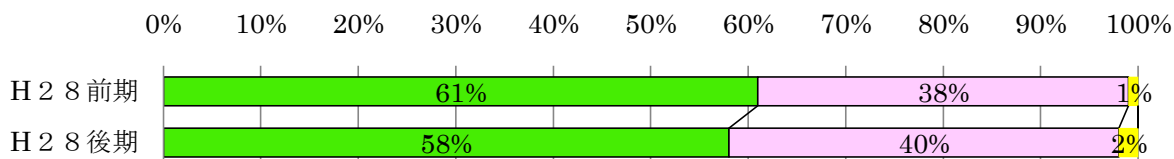
- ・項目1～3については、年度末アンケートで、「あてはまる・どちらかというにあてはまる」の回答割合を90%以上にする目標であったが、3項目とも99%の回答割合となったことから、目標を達成することができた。
- ・項目4「言葉に関するいろいろな遊び～」についても回答割合を80%以上にする目標であったが、99%の回答割合となったことから、目標を達成することができた。記述に、5歳児「入園前より読み聞かせに興味をもつようになった」などという成果がみられているものと、4歳児「本に親しむ時間を増やしてほしい」「昔話や童話を教えてほしい」というものもあるので、意見を踏まえながら来年度は取り組んでいきたい。
- ・項目5は、本園が特に子どもたちに身につけたい力だが、「あてはまる」の回答割合が前期より9%向上した。引き続き、来年度も取り組んでいきたい。

【視点】 道徳心・社会性の育成

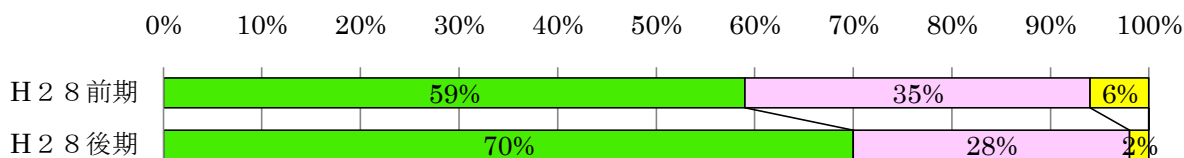
	あてはまる	えはあてはまる どちらかとい えばあてはま る	えはあてはま らな い	あてはまらな い	無回答
お子様は、命を守るためにどのように行動すればよいか関心をもつようになりましたか。	59	64	4	0	1
保護者の方は、防災・安全教育について関心をもつようになりましたか。	75	50	3	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、幼稚園のきまりを守っていますか。	80	45	3	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、あいさつをすすんでしていますか。	61	54	12	1	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、幼稚園には、いろいろな友達がいることを理解し、認め合おうとしていますか。	73	52	3	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、やさしさや思いやりの心が育ちましたか。	88	37	3	0	0



お子様は、入園・進級当初と比べて、幼稚園には、いろいろな思いの友達がいることを理解し、認め合おうとしていますか。



お子様は、入園・進級当初と比べて、やさしさや思いやりの心が育ちましたか。



【視点についての記述より】 ※抜粋したり、まとめたりしています。ご了承ください。

(5 歳児)

- ・降園時の園庭での話をじっと聞けない子どもたちが多い。それについて、家庭で話し合わないのかな。「自由」と「けじめのない行動」の区別がついていないと感じる。
- ・色々なことを柔軟に受け取れるようになり、友達との関係も楽しみ、納得がいかない事も溜めこまなくなってきた。
- ・相手の気持ちを考えて、その気持ちに寄り添う姿勢に驚かされた。

(4 歳児)

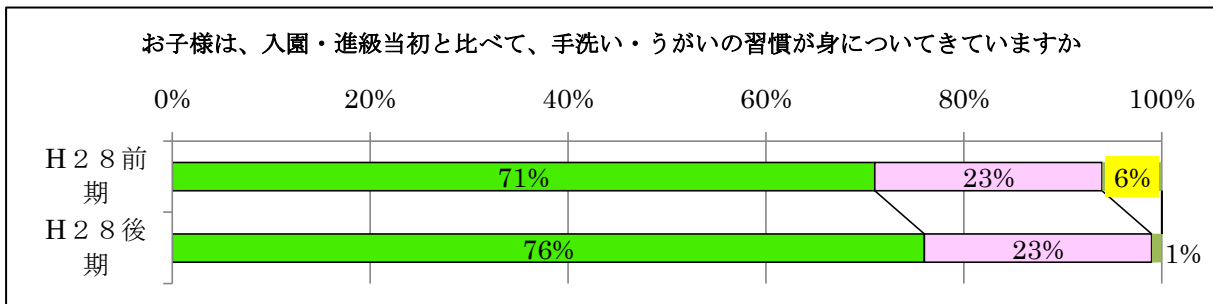
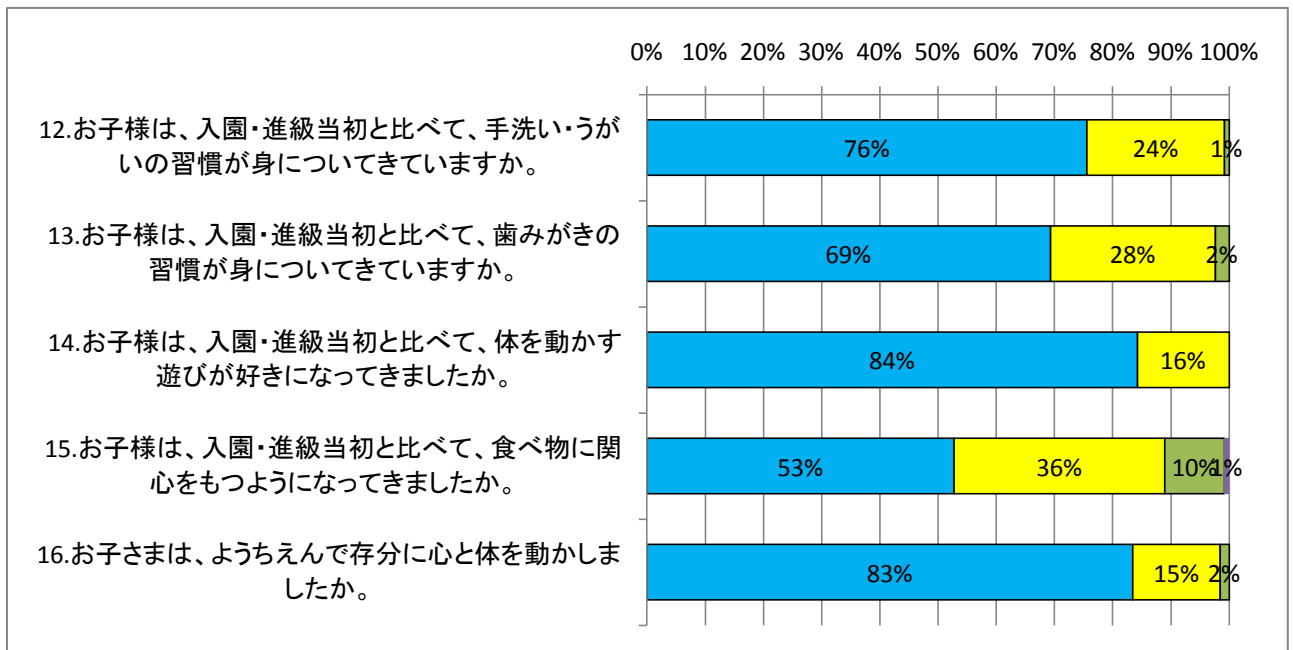
- ・ルールをよく守れるようになってきた。
- ・もう少し、自ら挨拶できるようになればと思い、家庭でもしつけていくようにしたい。
- ・状況に合わせた態度を少しずつ、身につけてほしい。
- ・落ち着いて、様々なことに興味をもち、周りを思いやる心を育ててもらっている。
- ・毎朝先生方が子ども一人ひとりの顔を見ながら挨拶してくれるおかげで、キチンと聞こえる声で言えるようになってきた。

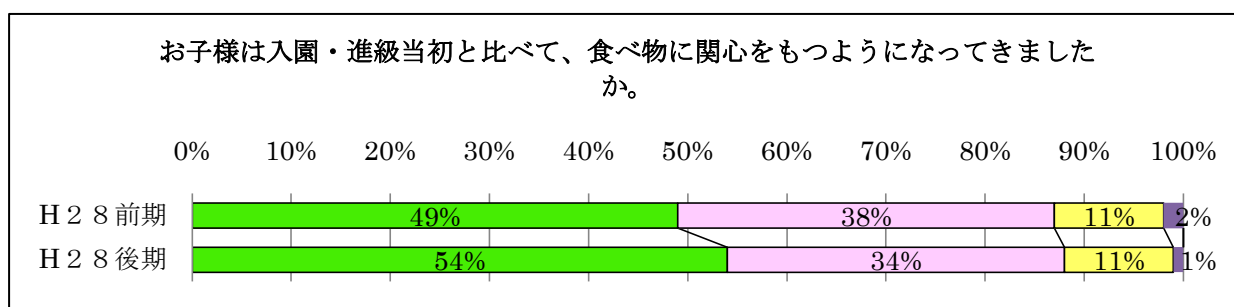
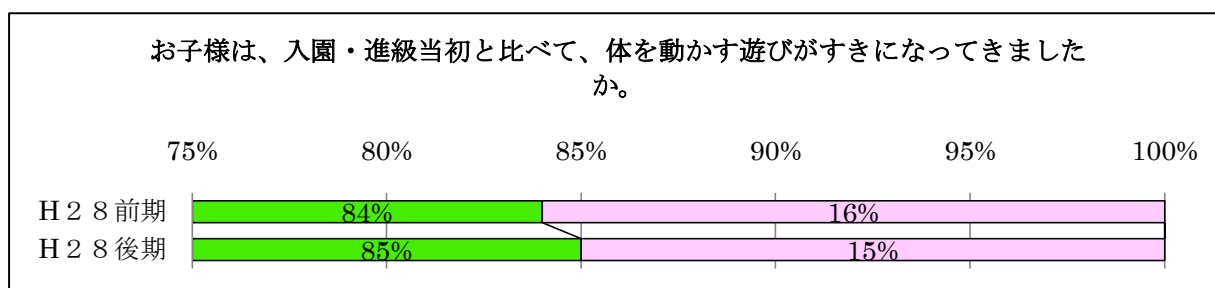
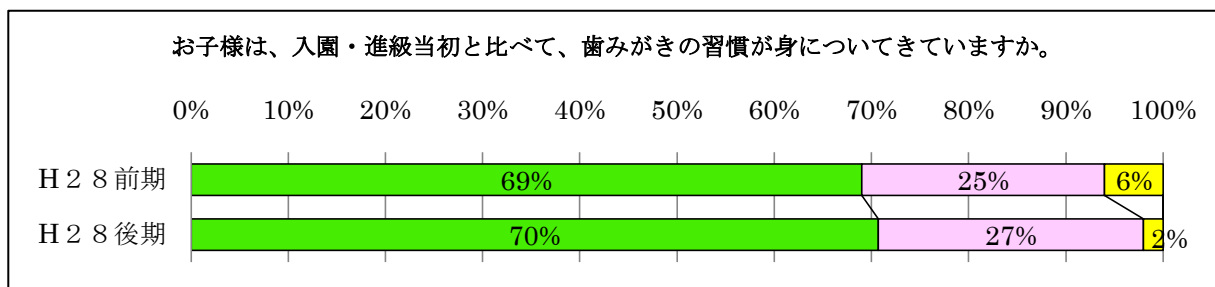
【成果と課題・今後の取り組み】

- ・項目 6・7については、年度末アンケートで、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答割合を 80%以上にする目標であったが、それぞれ 96%、98%の回答割合となったことから、目標を達成することができた。
- ・項目 8～10については、入園・進級当初と比べて「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答割合を 80パーセントにする目標であったが、それぞれ 88%、90%、98%の回答割合になったことから、目標を達成することができものの、前期時と後期時を比較すると、3項目とも、高評価が3パーセントから9パーセント下がっている。これは、その時期には入園・進級時期と比べた場合、前期では高い評価になったものの、後期の時期では課題が見られたり成長に合わせたことから下がったと思われる。記述にあるように、個人差はあるものの、落ち着いて話を聞く態度、状況に応じた態度の育成などに取り組んでいく必要がある。
- ・しかし、項目 11においては、高評価が4パーセント上がり、特に「あてはまる」の回答割合が前期より11%も上がっている。学力の基礎の向上の視点の記述にもあったが、幼稚園の集団生活の中で、年下の子をいたわったり、年長者のやさしさにふれたり、友達と思いを寄せたり、葛藤を通じ折り合いをつけ相手の気持ちに気づいたりする経験を通して、「やさしさ」や「思いやり」が育まれたものと思われる。

【視点】健康・体力の保持増進

	あてはまる	えはあてはまる どちらかとい えない	どちらかとい えはあてがま らない	あてはまらな い	無回答
お子様は、入園・進級当初と比べて、手洗い・うがいの習慣が身についてきていますか。	96	31	1	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、歯みがきの習慣が身についてきていますか。	88	37	3	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、体を動かす遊びが好きになってきましたか。	107	20	1	0	0
お子様は、入園・進級当初と比べて、食べ物に関心をもつようになってきましたか。	67	46	14	1	0
お子さまは、ようちえんで存分に心と体を動かしましたか。	106	19	3	0	0





【視点についての記述より】※抜粋したり、まとめたりしています。ご了承ください。

健康・体力の保持増進

(5歳児)

- ・遠足が年に何度もあり、楽しみがたくさんあってよかった。

(4歳児)

- ・最近では、一輪車に乗ることをがんばっている。
- ・冬場マラソンをして体を温め、体力をつけるのはいいと思う。
- ・日常に規則的なリズムができて、子どもの心の安心感が育まれたと感じている。
- ・外で思い切り体を動かして遊ぶことがますます好きで楽しく感じている。
- ・体を動かすことが多いので、子どもにとってはとてもいい環境だ。
- ・外遊びも多く、体が丈夫になってきたのか、最近はほとんど喘息の発作をおこさなくなってきた。
- ・食にも少しづつ、関心をもつようになってきた。

【成果と課題・今後の取り組み】

- ・項目12～15については、入園・進級当初と比べて、「あてはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答割合を、80%にする目標であったが、それぞれ99%、97%、100%、88%であったことから、目標を達成することができた。
- ・また、前期との比較においても、4項目とも後期が高い評価となった。この一年間の取り組みの中で、目標を達成できたと思われる。
- ・「体を動かすことが好き」については、保護者の方の実感も記述に多く見られた。